

調査票A-①(平成25年度連携実績) : 平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
1	総合経営部 広聴課	施設見学会	生涯学習	市の事業に大学等が協力	公募市民対象の市内施設の見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	2013.10/8 ～10/24	市民が大学等(教授・学生・施設)と接する貴重な機会となり、市民への大学等への理解が深まる。	特になし	1. 山野美容芸術短期大学 2. 東京薬科大学 3. 創価大学 4. 東京家政学院大学 5. ヤマザキ学園大学 6. トヨタ東京自動車大学校	
2	総合経営部 広聴課	市民フォーラム・未来を語る	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	市長を含むパネリストのパネルディスカッションを通じ、まちづくりや市政に対する関心を深めるとともに、行政との協働意識の高揚を図る。	2014.2/2	大学教授に基調講演及びコーディネーターをお願いすることで、より専門的な見解を参加者へ伝えることができる。また、パネリストに大学生を迎えることで、大学生にも市政を身近に感じてもらうことができる。	特になし	首都大学東京 創価大学	
3	市民活動推進部 多文化共生推進課	多文化共生推進委員会	国際交流	検討会委員、講師派遣等に協力	2013年3月に策定された「多文化共生推進プラン」の進捗状況や本市の多文化共生推進施策に意見等をいただくにあたり、本プランの策定にあたり、ご尽力をいただいていた中央大学の森茂教授に、本委員会の座長を務めていただき、取りまとめをお願いして	10年	多文化共生に関する専門的な知識を持っており、また、本プラン策定に至るまでの経緯も把握されているため、的確に委員会を取りまとめている。	特になし	中央大学	文学部 森茂教授
4	生活安全部防犯課	落書き消去及び壁画アートの作成	その他	大学等の研究事業に市が協力	落書き消去活動を行った場所に新たな落書きがされることを防止するため、学生たちに壁画アートを描いてもらう。	17日間	治安の悪化を引き起こす一因になっているといわれている落書きに対し、学生、地元住民、警察、市が協力して取り組むことで、より安全で安心な暮らしのまちづくりに寄与することができる。	落書き消去活動については問題なし、壁画作成活動については、ペンキ等の費用を負担していただく必要がある。	日本工学院八王子専門学校	
5	福祉部 福祉政策課	八王子市地域福祉推進協議会	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	平成25～29年度を計画期間とする『第2期地域福祉計画』の円滑かつ効果的な実施を推進するため、特に重点課題について進行管理を行うとともに、本市における保健医療、福祉の総合的な発展のため、協議、意見交換を行う。	任期 平成25年 8月1日～ 平成26年 7月31日 まで	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行ができる。	特になし	法政大学 首都大学東京	
6	福祉部 高齢者いきいき課	シニア元気塾	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	シニア元気塾(実践講座)で、地域のボランティアの中心的役割を担っていただくための知識の習得を目的として実施	平成26年 2月6日～ 3月13日	専門的分野における講演をいただくことで受講生の意識の向上につながっている。	特になし	拓殖大学	
7	福祉部 高齢者いきいき課(	八王子市高齢者在宅サービスセンター指定管理者選定委員会委員	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市高齢者在宅サービスセンターの運営を行う指定管理者の選定を、公正かつ適正に実施する。	平成25年 7月1日～ 12月28日	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行に貢献している。	特になし	杏林大学	

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
8	医療保険部地域医療政策課	戸吹湯ったり館新春初笑い寄席	医療・福祉・健康	その他	指定管理者が大学にボランティアを依頼し、落語2席と漫才の楽しいひと時と終わった後はお風呂で心も体も暖まっていたり事業。	1月26日(日)	・学生たちに発表の場を提供でき、異世代間の交流が図れた。 ・戸吹湯ったり館の集客に役立ち、利用者は、笑により健康増進となった。	特になし	拓殖大学	落語研究会
9	健康部 健康政策課	第2期 保健医療計画協議会	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	第2期保健医療計画の進行管理を学識者委員として参加し、専門的な見地から意見をいただく。	2年	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績、指導力などにより、事業目的が達成される。	特になし	杏林大学総合政策学部教授	
10	健康部 健康政策課	健康フェスタ	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	5月19日に開催した健康フェスタにおいて、会場内の警備及び駐車場警備、イベント従事を依頼。	1年	イベントに学生が従事することで、若い世代への声掛けや啓発活動がスムーズにできた	特になし	東京工科大学	
11	子ども家庭部 子どものしあわせ課	八王子市子ども・子育て支援審議会	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	地方自治法に基づく市長の附属機関として、本市における子ども・子育て支援に係る施策に関する事項について調査審議する。	2年(任期)	子ども・子育てに関する専門的知識を審議の中で活用することができる。	特になし	日本大学 東京純心女子大学	
12	子ども家庭部 児童青少年課(館ヶ丘児童館)	中高生講座「ゆかたで行こう!八王子まつり」	その他	市の事業に大学等が協力	中高生むけのゆかた着付け講座。学生が講師として参加する。八王子まつり当日に体験することで、伝統文化とともに、地域行事に親しむ。	1日	学生が講師として参加することにより、中高生に対して進路や職業についての意識啓発を、より効果的に行うことができる。	特になし	山野美容芸術短期大学	
13	子ども家庭部 児童青少年課	子どもの意見発表会	まちづくり	市の事業に大学等が協力	「八王子市子どものすこやか宣言」の普及啓発及び子どもの意見表明を通じて子どもの成長を図ることを目的に、子どもが考えたアンケート調査をし検証した内容を踏まえて意見発表を行うイベント。	1日	学生が参加することにより、「八王子市子どもすこやか宣言」「子どもの権利」に関する普及・啓発が図られる。	特になし	東京工科大学	
14	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	子育て世代における世代間関係構築に関するアンケート	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	子育て世代における世代間関係構築の実証研究として、異なった世代間の支援の実情、地域と家庭の連携の在り方を調査し、それをもとに子育て家庭への支援に活用していく事を目的とする。	2週間	今後の子育て支援の在り方の一助。(アンケート集計・分析結果は後日受領)	特になし	宇都宮共和大学	

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
15	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	講師派遣	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	児童虐待防止啓発のために子ども家庭支援センターの役割を講義する。	1日	虐待事例を通して子ども家庭支援センターや各関係機関の連携を学んで実情を認識してもらい虐待防止に役立てる。	特になし	帝京大学	
16	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	虐待防止キャンペーンボランティア依頼	医療・福祉・健康	市の事業に大学等が協力	虐待防止キャンペーンにてオレンジリボンの配布などの啓発活動を行う。	1日	学生と市民の虐待予防に対する認識を高める。	特になし	法政大学	
17	産業振興部 産業政策課	大学と企業の交流会	産業振興	その他	大学キャリアセンター職員と市内企業が交流することで顔の見える就活スタイルを実現していく。	年2回	交流会をきっかけに市内企業と大学とのつながりが生まれた。	特になし	拓殖大学、帝京大学、杏林大学、桜美林大学、首都大学東京、実践女子大学、和光大学、明星大学、多摩大学、玉川大学など	キャリアセンター
18	産業振興部 産業政策課	八王子古本まつり	産業振興	その他	八王子駅ユーロードで行う古本まつりのブースの手伝いを行う	年2回	学生には社会経験となった。企業側にとっては若年層の嗜好などの判断材料となった。	特になし	東京工科大学	学務課
19	環境部 環境政策課	「ちえっくどう(中大・八王子方式)」による地域環境診断	環境	大学等の研究事業に市が協力	環境診断士の指導のもと、各地区の環境市民会議が市民を対象に環境指標「ちえっくどう」を用い環境診断を行い、その結果を中央大学の研究生が集約し、分析結果を市の環境政策に利用できるような成果物として環境政策課及び環境診断士に提供する。	3年	環境指標「ちえっくどう」による診断を行うことで地域の環境の現状を再確認するとともに、他市における診断結果との比較分析を行うことができる	特になし	中央大学	経済学部田中研究室
20	都市計画部 交通企画課	(仮称)八王子市交通マスタープラン検討委員会	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	交通マスタープランの改定にあたり、市の検討内容への助言を得る。	2年	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	特になし	中央大学 理工学部 都市環境学科	鹿島茂教授
21	都市計画部 都市総務課	八王子医療刑務所用地活用検討専門家会議	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	本市が八王子医療刑務所用地の活用に向けた検討を進めるにあたり、検討内容の妥当性や実現性等について、多様な専門性の観点からの助言を得る。	2年	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	特になし	・東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻都市デザイン研究室 ・多摩大学 経営情報学部 ・明星大学 理工学部 ・中央大学 商学部 ・日本女子大学 家政学部	・黒瀬武史助教 ・中庭光彦准教授 ・西浦定継教授 ・根本忠宣教授 ・葉袋奈美子准教授

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
22	拠点整備部 中心市街地対策課	「八王子まちナビ」店舗調査	まちづくり	市が大学等にボランティアを依頼	「八王子まちナビ」のモニターを兼ね、登録店舗に訪問し、店舗の特徴や魅力等の調査をしてもらった。また、登録店舗以外で気になる店舗をピックアップしてもらった。	11月	1. 学生が、中心市街地や「まちナビ」に関心を持つ機会となる。 2. 学生の視点を今後の「まちナビ」の発展に活かすことができる。	特になし	東京工科大学	
23	まちなみ整備部 まちなみ景観課	八王子中町・花街の石畳清掃活動	まちづくり	市が大学等にボランティアを依頼	住民等により構成されてまちづくり活動を行っている中町地区まちづくり協議会と石畳のガム剥がしなどの清掃活動。	1年	住民等と協働でまちの美観維持に協働で取り組む機会を提供することができた。 歴史と文化を感じるまちづくりに取り組んでいる中町地区を知っていただく機会になった。	特になし	東京工科大学	
24	道路交通部 交通事業課	小学生交通安全絵画コンクール	教育	市の事業に大学等が協力	小学生の交通安全の啓発を目的として、小学校3年生を対象とした絵画コンクール。優秀作品は秋の全国交通安全運動のポスター(市独自作成)になる。	平成24年12月～平成25年9月(年度をまたぐ)	専門家による選定により、公平でより良い交通安全ポスターができる。	特になし。	多摩美術大学	
25	道路交通部 交通事業課	放置自転車防止啓発活動	その他	市の事業に大学等が協力	市が設置する中央大学・明星大学駅自転車駐車を適正に利用してもらうことを目的として、各大学職員と連携し、学生に対しティッシュ配布等の啓発活動を実施した。	1日	各大学と自転車駐車場についての意見交換をすることができた。	実施時期の調整	中央大学 明星大学	
26	生涯学習スポーツ部 学習支援課	青少年講座 こども記者に挑戦 新聞ブログを作ろう。 ～新聞記者・クリエイティブ探検隊～	生涯学習	市の事業に大学等が協力	大学生の指導の下、小学生がクリエイティブホールで活動しているサークルに対して取材を行い、新聞を制作、ブログとしてネットに掲載した。	H25.8.14	就業体験を小学生に提供すると共に、世代間の交流を図ることができた。	特になし	中央大学	松野良一ゼミ
27	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	41665	救護に伴う沿道巡回や救護所の運営を保健学部の学生に担当してもらい、安全な大会運営が行えた。	特になし	杏林大学	
28	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	41665	選手・役員を輸送するため大学のバスを提供してもらい、大会運営を円滑に行うことができた。	特になし	学校法人 片柳学園(東京工科大学 日本工学院八王子専門学校) 山野美容芸術短期大学 明星大学 創価大学	

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
29	国体推進室	スポーツ祭東京2013 モザイクフォト アート制作	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	学生自らが、国体のデモスポ行事である「インディアカ」「ネオテニス」の大会へ赴き、そこでの様子を記録した写真でモザイクアートを制作した(ポスターとチラシを制作)	H25.6.2 H25.6.8 H25.7.7	1. 学生に対し、スポーツへの関心を高め、市民活動等への参加を促進し、活力あるまちづくり推進へのきっかけとなった 2. 国体開催機運の醸成を図ることができた	特になし	帝京大学 帝京大学短期大学	短期大学人間 文化学科 (大貫講師)
30	国体推進室	スポーツ祭東京2013 八王子市の炬 火台制作	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	スポーツ祭東京2013の炬火採火式において使用する炬火台の制作を行い、他市区町村にない本市独自の取り組みとした	H25.3.28 ～ H25.5.17	1. 学生らしい感性や専門性の高い技術を活用することができた。 2. 学園都市ならではの取り組みを行うことで、他の市区町村との差別化し、本市独自の炬火採火式を行うことができた。 3. 国体開催機運の醸成を図ることができた	特になし	多摩美術大学	工芸学科研究 室(池本教授)
31	国体推進室	スポーツ祭東京2013 競技会プログラ ム表紙デザイン	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	ゴルフ競技会及び、高等学校野球(硬式)競技会の競技会プログラムの表紙デザインを行った	H25.1.28 ～ H25.7.22	1. 学生らしい感性や専門性の高い技術を活用することができた。 2. 学生がデザインしたものを具現化する工程を自ら体験することができた 3. 国体開催機運の醸成を図ることができた	特になし	東京造形大学	造形学部 (福田教授)
32	国体推進室	スポーツ祭東京2013 高等学校野球 (硬式)の入場 チケットのデ ザイン	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	高等学校野球(硬式)の入場チケットのデザインを行った	H25.3.28 ～ H25.7.17	1. 学生はアイデア展開から、良い意味で型に捕われず、各々の発想がイメージされた表現を具現化することの難しさも体験することができた。 3. 国体開催機運の醸成を図ることができた	特になし	東京純心女子大学	現代文化学部 国際教養学科 井上准教授
33	国体推進室	スポーツ祭東京2013 スマートフォン アプリの開発	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	スポーツ祭東京2013のマスコットキャラクター「ゆりーと」にちなんだ、スマートフォンのゲームアプリを開発した	H25.3.28 ～ H25.8.20	1. 学生らしい感性や専門性の高い技術を活用することができた。 2. 国体開催機運の醸成を図ることができた	特になし	東京工科大学	メディア学部 (佐々木研究 室)
34	国体推進室	スポーツ祭東京2013 大会運営ボラ ンティア協力	生涯学習	市が大学等に ボランティアを 依頼	体操競技会場で、会場の案内やドリンクの配布、会場設営等をボランティアで活動した	H25.9.29 ～ H25.10.5	1. 学生に対し、スポーツへの関心を高め、市民活動等への参加を促進し、活力あるまちづくり推進へのきっかけとなった	特になし	東京工科大学	
35	国体推進室	スポーツ祭東京2013 大会運営ボラ ンティア協力	生涯学習	市が大学等に ボランティアを 依頼	体操競技会場で、会場の案内やドリンクの配布、会場設営等をボランティアで活動した	H25.9.29 ～ H25.10.5	1. 学生に対し、スポーツへの関心を高め、市民活動等への参加を促進し、活力あるまちづくり推進へのきっかけとなった	特になし	日本工学院八王子専門学校	スポーツカレッ ジ

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
36	国体推進室	スポーツ祭東京2013大会運営ボランティア協力	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	体操競技会場で、トレーナーセッションを開設。ストレッチなどの施術を行うスポーツトレーナーボランティアとして活動した。	H25.9.29 ～ H25.10.5	1. 学生の専門性の高い技術を活用することができた。 2. 学生が実践的な場で自らの知識や技術を発揮できる機会となった 3. 学生に対し、スポーツへの関心を高め、市民活動等への参加を促進し、活力あるまちづくり推進へのきっかけとなった	特になし	日本工学院八王子専門学校	スポーツカレッジ
37	国体推進室	スポーツ祭東京2013映像配信補助ボランティア協力	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	スポーツ祭東京2013体操・新体操の競技会中に行ったユーーストリーム配信において、業務委託先のスタッフの補助としてボランティアで業務にあたった	H25.9.29 ～ H25.10.5	1. 学生の専門性の高い技術を活用することができた。 2. 学生が実践的な場で自らの知識や技術を発揮できる機会となった 3. 学生に対し、スポーツへの関心を高め、市民活動等への参加を促進し、活力あるまちづくり推進へのきっかけとなった	特になし	東京工科大学	メディア学部
38	国体推進室	スポーツ祭東京2013映像配信補助ボランティア協力	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	スポーツ祭東京2013体操・新体操の競技会中に行ったユーーストリーム配信において、業務委託先のスタッフの補助としてボランティアで業務にあたった	H25.9.29 ～ H25.10.5	1. 学生の専門性の高い技術を活用することができた。 2. 学生が実践的な場で自らの知識や技術を発揮できる機会となった 3. 学生に対し、スポーツへの関心を高め、市民活動等への参加を促進し、活力あるまちづくり推進へのきっかけとなった	特になし	日本工学院八王子専門学校	クリエイターズカレッジ
39	国体推進室	スポーツ祭東京2013記録写真撮影ボランティア協力	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	スポーツ祭東京2013の競技会の記録写真撮影を行った	H25.9.29 ～ H25.10.7	1. 学生らしい視点で国体競技を捉え、新鮮な感性の写真を数多く残すことができた 2. 学生にとっても、なかなか経験することのできない競技の撮影なども行え、貴重な体験となった 3. 学生に対し、スポーツへの関心を高め、市民活動等への参加を促進し、活力あるまちづくり推進へのきっかけとなった	特になし	中央大学 法政大学	中大スポーツ新聞部 中大写真研究部 スポーツ法政新聞会
40	市民活動推進部協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	南大沢コミュニティオペラ	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	プロ・セミプロ・アマ・学生・ふれあい財団が力を合わせて創造する手作りのオペラ。「創る」「演じる」「観る」喜びを多くの方と分かち合い、地域に根付いた活動となることを目指す。	1年	本格的な市民オペラを創り上げるために、単なる制作経費の削減ではなく、地域と一体化した手作りの活動になること、また、学生の学習成果を発揮する場としても活用されている。	特になし	①東京家政学院大学 ②山野美容芸術短期大学 ③日本工学院八王子専門学校 ④東京工科大学	①生活デザイン学科 ②専攻科芸術専攻 ③放送・映画科 ④メディア学部 ntebro
41	市民活動推進部 学園都市文化課	南大沢文化会館ダンスワークショップ	教育	市の事業に大学等が協力	26年度に実施する学生の指導により、小中学生が正しいダンスの技術や、体の動かし方を習得するワークショップのプログラムを共同で作成した。	1年	学生が指導することにより、大学が地域にとってより身近なものとして認識されるとともに、南大沢地域のダンス層の拡充を図り、将来の文化人を育成する。	特になし	東京工科大学	

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
42	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 夢美術館	多摩美術大学 サウンドアート展	芸術・文化	その他	いちようホール展示室等で在学生、卒業生の作品展示、パフォーマンスを開催。記録誌を発行。	12月7日 ～1月31日	1. 市内大学の学生に発表の機会を与え、文化人を育てる。 2. 卒業し、八王子から離れた人材を八王子に呼び寄せる。 3. 市内大学と市民の交流を図れる。	作品の保護と事故の防止	多摩美術大学	情報デザイン 学科メディア芸術コース
43	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	中高生のための 大学オールスターフェア 八王子	教育	その他	幅広い学部が集まっている大学コンソーシアム八王子の魅力を活かし、大学コンソーシアム八王子加盟校が特色のある模擬授業を実施すること及び大学資料の配布や学校説明を行う大学ブースを実施する	11月24日	1. 高校生や中学生並びにその保護者が大学等の授業についての理解を深めることができる 2. 進学に際しての参考としてもらえること及び各校のPRに繋がる	予算の確保 授業内容の調整 参加者の募集	地域23大学等	
44	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	第15回記念 フラワーフェスティバル由木	まちづくり	その他	フラワーフェスティバル由木開催にあたり案内所及びプレイランドでの手伝いとしての人的協力	まつり開催の2日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図れる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	新年度早々行事のため人員確保。学校行事と重なると協力が見込めない。	東京工科大学	
45	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 スポーツ事業課	はちおうじダッシュ!	教育	その他	市内唯一の小学生陸上競技会。本格的な写真判定装置により、学年別・性別で50m走を行うもので、八王子の中学、高校、大学、実業団などの陸上関係者から協力をいただき運営を行った。またランニングクリニックや学生による100m走デモンストレーションを行った。	H24.8 H25.8	八王子地域や周辺の大学から約50名の学生がボランティアで参加し、出場した小学生のお兄さんお姉さん的な存在で引率するなど運営に協力した。デモンストレーションでは学生たちの走る速さを実感することが出来た。	なし	法政大学 中央大学 帝京大学 国士舘大学	各陸上部
46	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 スポーツ事業課	上柚木公園の紅葉と木の実を楽しもう	生涯学習	その他	森林インストラクターの講師により園内の紅葉や木の実をクローズアップし成人対象に秋ならではの樹木の楽しみ方を紹介する。	H25.11	造園樹木を学ぶ学生3名がボランティアでサポートし、参加者が個別に知りたい木々について答えたり、進行補助を行なった。	なし	日本工学院八王子専門学校	教育・学生支援部